

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-H8*-A412A/J	Rev.	第1版
題名	イレーズサスペンド機能を使用する場合の注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	H8S/20103, H8S/20203, H8S/20223 グループ	対象ロット等	関連資料	H8S/20103, H8S/20203, H8S/20223 グループ ハードウェアマニュアル第一版 RJJ09B0491-0100 (Rev.1.00)	
		全ロット			

CPU 書き換えモードにおいて、ユーザ ROM 領域消去時にイレーズサスペンド機能を使用する場合、ユーザ ROM 領域の消去動作が完了しない場合があります。

1. 発生条件

CPU 書き換えモードにおいて、EWO モードまたは EW1 モードでのユーザ ROM 領域消去時、消去期間内で一定周期でイレーズサスペンド機能を繰り返し使用した場合。

(1) EWO モード

- 一定周期で割り込みが繰り返し発生したとき
- 一定周期で FLMCR2 の FMSPREQ ビット = ' 1 ' の設定を繰り返し実行したとき

(2) EW1 モード

- 一定周期で割り込みが繰り返し発生したとき

2. 対策

一定周期でイレーズサスペンド機能を繰り返し使用しないでください。消去期間内でイレーズサスペンド機能を繰り返し使用する場合は、周期が一定にならないように下記 2 - 1 式に示す条件で、要求周期をソフトウェアで制御してください。

$$T2 > T1 + TD \quad \text{または} \quad T2 < T1 - TD \quad \dots (2 - 1)$$

TD = 1.0 μsec (製品の動作周波数によらない一定時間)

T1: 前回のイレーズサスペンド要求から今回のイレーズサスペンド要求までの期間

T2: 今回のイレーズサスペンド要求から次のイレーズサスペンド要求までの期間

以上